

デンソー・プレスカンファレンス

株式会社デンソー
取締役社長 有馬 浩二

皆様、こんにちは。デンソーの有馬でございます。本日はデンソーのプレスカンファレンスにお越しいただき、誠にありがとうございます。

最初に、この度の台風 19 号において被災された皆様に、心より、お見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今年、デンソーは、おかげさまで 70 周年を迎えます。また、デンソーが生み出した QR コードも 25 周年を迎えました。この場をお借りして、皆さまに御礼申し上げます。

今、世界中で起きているデジタル化の波は、これから先の私たちの生活や社会をどのように変えていくのでしょうか。私は、デジタル技術のサポートにより、人が自分の力だけではできないことが可能になり、人や社会を若返らせることができる、と考えています。

昨今、高齢者の交通事故や、免許返納などが多く報道されています。また、年齢問わず、その日の体調や、その時々心の状態は、運転中の判断に影響を与えます。そういった影響を少しでも解消し、多くの人々が安心して移動を楽しめる。会いたい人に会いに行ける、見てみたかった新しい景色を見に行ける。それにより、人が若返り、元気になる。子どもから高齢者まですべての人に、笑顔があふれる社会をお届けすることが、私たちデンソーの使命だと思っています。

2 年前の 10 月、デンソーグループ 2030 年長期方針を策定して以降、よりクルマ視点での開発・商品化に向け、今までの自分たちにはない知見を取り入れるべく、新たな「仲間づくり」を進めてまいりました。

電動化においては、2019 年 4 月、電動化駆動モジュールの開発、販売を担う新会社「株式会社 BluE Nexus (ブルーイー ネクサス)」をアイシン精機様と設立しました。また、2020 年 5 月には、弊社 安城製作所内に「電動開発センター」を立ち上げます。電動化のグローバルマザーとして、トヨタ自動車様の広瀬工場と一体となり、電動化製品の先行開発、試作、実証、量産までを一貫で行います。デンソーグループ全体で 2018 年度からの 3 年間で約 1,800 億円を投資し、電動化領域をさらに強化してまいります。

自動運転の領域では、2019 年 4 月、トヨタグループの 4 社で新会社「J-QuAD DYNAMICS (ジェイクワッド ダイナミクス)」を立ち上げ、信頼性の高い自動運転の実現に向けた統合制御ソフトウェア開発を加速しております。また、2020 年 6 月には、羽田空港跡地に自動運転技術の試作から実証まで一貫して行える体制が整います。

こうした電動化や自動運転を際立たせるための、キーデバイス領域の改革にも着手しました。半導体、センサー、ECU、モーター領域に、2017 年度からの 3 年間で約 5,700 億円を投資し、コア技術の磨き上げと、供給の構えづくりを加速してまいりました。

半導体においては、2020 年 4 月にトヨタ自動車様と共に、車載半導体の研究・先行開発を行う新会社を設立します。両社の 500 人のプロフェッショナルを集結し、デンソーが磨いてきた半導体技術に、トヨタ自動車様の持つモビリティ視点での知見を取り入れ、よりお客さま視点での研究開発を加速させます。

さらには、世界の頭脳や叡智を集結しスピーディーに技術開発を進めるため、世界各地にある7つのテクニカルセンターに加え、フィンランド、イスラエル、モントリオール、シアトルなど、先端 R&D を行うイノベーションを、この2年間で拡充してまいりました。

これまで述べたことは一例でございますが、モビリティ社会におけるクルマの進化に貢献するシステムや部品をお客さまに、より高い価値をお届けしたい。その想いで、ハードウェアとソフトウェアの両面で、世界の新たな仲間達と共に、まだまだ十分とは言えませんが、整えてまいりました。

このように、この2年間で様々な挑戦をしてまいりましたが、モビリティがもたらす元気で楽しい暮らしを、より多くの人に届けるため、さらにギアを上げてチャレンジをしてまいります。

皆さんも、緑豊かな山々、青い海など、大自然が大好きなのではないでしょうか。私自身も、大自然に囲まれて育ったこともあり、大好きです。週末になると近くの山や海に車で出かけ、自然からエネルギーをもらって元気になります。この日本の美しい景色を絶対に守りたい、美しいこの環境を、次世代に確実に受け継いでいきたい、心からそう強く願っています。

持続可能なモビリティ社会の実現に向けては、再生可能エネルギーの利用拡大が不可欠です。水素エネルギーは、その利用拡大において非常に重要な位置づけとなります。中でも、商用車のCO₂排出量削減への貢献度は大きいため、乗用車だけでなく商用車にも注力してまいります。デンソーは、環境にやさしいパワトレインの進化、普及に向け、EVのみならず、内燃機関からHV、PHV、FCVに至るまで全方位で対応してまいります。そして、青い空、美しい環境を、未来に届けます。

また、より高い価値をお客さまにお届けするために、車両全体のエネルギーマネジメントにも注力してまいります。電動車両の普及における課題の一つが、バッテリーの充電時間や寿命、航続距離です。また、自動運転が進みますと、ECUによる演算量が格段に増えることにより、ECUの熱マネジメントが重要な課題となります。私たちには、60年にわたり磨き続けてきた、カーエアコンをはじめとする熱マネジメントの技術があります。デンソーだからこその、車両全体の効率的なエネルギーマネジメントで、航続距離を25%延長、バッテリー充電時間を1/3に短縮、バッテリー寿命を20%延長することを実現します。

そして、スピードを上げてこれらを提供するためには、ソフトウェア開発力の強化が大変重要であり、2025年までに、世界全体でソフトウェア人材を12,000人まで拡大します。また、インドやベトナムをはじめ、世界中の拠点を活用し、大規模ソフトウェア開発を24時間体制でスピードを上げて、強力に進めます。

最後になりますが、社会に貢献するには、いかに普及させるかという視点が大事です。乗用車だけでなく商用車にも、新車だけでなく既販車にも、より多くのお客さまのお役に立てるよう、必死に取り組んでまいります。

デンソーは、これからも、「人」と「社会」に常に寄り添い、人の温かさ、優しさがあふれる暮らしの実現にもっと貢献したい。そのために、謙虚に技術を生み出し、モノづくりの力を磨き続けます。そして、その鍵を握るのは「人」です。デンソーの「人」が生み出す「実現力」で、世界の人々の暮らしをもっと元気に、もっと楽しくしていきたい。その想いで、世界中の仲間達と共に、挑戦し続けます。

ありがとうございました。

以上